㈱NTTファシリティーズ
代表取締役社長
沖田 章喜氏

インタビュー

“環境&エネルギーのインテグレーター” 目指すは「スマートコミュニティ」の実現

100年以上にわたり情報通信ネットワークを支える建物、電源、空調システムの企画から設計、建設、維持管理に至る幅広い業務を一貫して手がけるNTTファシリティーズ。そのノウハウと技術を駆使し「地球環境の保護」と「高信頼の実現」という時流に対応する『統合ファシリティサービス』を中心としたビジネス戦略を、沖田 章喜社長にうかがった。

地球環境を考えた『統合ファシリティサービス』

――まず初めに『統合ファシリティサービス』とはどのようなサービスか、お聞かせください。

沖田　NTTファシリティーズは、NTTを中心に全国21,000棟の建物、20万に及ぶ電源・空調システムなどを一手に引き受けて企画、設計、維持管理、保守、監視をしており、これら膨大な建物・設備から得られた情報をデータベース化し、解析することで改善サイクルを回してきました。この経験を基に、建物・設備に関するサービス・ソリューションをワンストップで提供できることが当社の強みであり、この強みを活かし、環境負荷低減や省エネ等に貢献するソリューションが『統合ファシリティサービス』です。

《統合ファシリティサービス メニュー》

①グリーンコンサルティング	④Fデータセンター
②メガソーラー	⑤100年BCP
③GreenITy Building	⑥高機能ビルマネジメント

図1　『統合ファシリティサービス』として提供する6つのソリューションメニュー

環境負荷低減への取組みを包括的にサポート

――環境に対するお客様の関心は今どのように変化し、どのように対応しているのでしょうか。

沖田　省エネ法の改正や東京都環境確保条例の改正など、法的規制への具体的な対応は必要不可欠なものとなっており、企業にとって、環境性と経済性を両立させることが、経営戦略上これまで以上に重要な課題となってきています。そこで、法令の規制範囲、環境負荷の見える化、省エネルギー施策のコスト削減効果や適用可能な環境減税・補助金などさまざまな要素を包括的に考慮し、お客様の削減目標達成と企業の環境価値向上に向けた提案を「グリーンコンサルティング」として提供しています。また、当社は太陽光発電システムのインテグレーターとして、大規模システムを含め全国500カ所以上の太陽光発電システムの導入の手伝いをしてきました。これらの経験から得た、電力会社への系統安定化技術や、環境に優しく、コストミニマム化を図る太陽電池アレイの架台構築技術、雷害対策技術を活用し、「メガソーラー」として太陽光発電システムの導入をトータルにサポートしています。

さらには、環境に優しい建物を設計すると共に、省エネ技術で建物価値を向上させることを狙った建築設計やリニューアルを実現する「GreenITy Building」でも環境負荷低減に貢献しています。安全性、信頼性、省エネルギー、フレキシビリティ、環境配慮などの独自に整理・体系化した要素技術を効果的に統合させ、環境性能が高く、長寿的な建物を提案しています。

信頼性とグリーンの両立も重要なミッション

――NTTファシリティーズならではの「安心・安全」サービスについてお

聞かせください。

沖田　「安心・安全」は今までも、これからもNTTファシリティーズのブランドであると考えています。当社が構築する「**Fデータセンター**」は、気流を制御する「アイルキャッピング」や交流・直流の変換エネルギー損失を削減する「高電圧直流給電システム（HVDC）」、あらゆるラックに対応し、軽量で低コストの二重床システム「FIT Floor」などで安心・安全で効率的なファシリティ・インフラを実現します。少し、話しが変わりますが、「アイルキャッピング」や「FIT Floor」を含めたデータセンターの3製品（図2参照）が2010年度グッドデザイン賞を受賞しました。当社では、魅力的なサービスや製品をお客様に提供するためにデザインにもこだわっていきます。

続いて、データセンター、金融施設、大規模オフィスビルなど「一瞬も停止が許されない建物」の電源・空調設備をはじめとした建物・設備の維持管理からライフサイクルコストの管理までを「24時間365日」でフルサポートする「**高機能ビルマネジメント**」もそのひとつです。全国約200カ所を結んだ広域ネットワークをフルに活用し、ビル運営の業務全般をサポートする「信頼性」と、ビルトータルでのエネルギー管理による「省エネ」対策が特長です。

最後に、「**100年BCP**」です。電気通信で長年に渡り培った実績・技術に基づく実践的事業継続ノウハウと高信頼技術により、お客様の事業継続のための企画提案、計画策定、教育プログラムまでのトータルマネジメントにより、リスクへの対応による企業価値向上をサポートしています。

スマートビジネスとグローバルビジネスを本格化

――これから特に注力していくビジネスをお聞かせください。

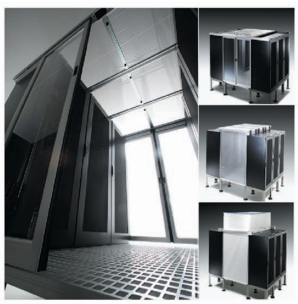
沖田　まずは、「**スマートビジネス**」です。今後、低炭素社会の実現に向けて、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーや電気自動車、蓄電池などが普及拡大していくことで、エネルギーの流れが双方向へと変化しますが、これらを安定的に運用するため、ICTによるエネルギーの最適な需給制御が求められています。当社は、愛知万博マイクログリッド実証での“エネルギー需給最適制御システム”の開発やNTTグループが保有する建物のグリーン化のための、“グリーン設計ガイドライン”の導入、そしてビルの最適運用のための“BEMS”の開発など、低炭素社会の実現に向けた技術開発にいち早く取り組んできました。また、グループ会社には特定規模電気事業者である「エネット」があり、電力を供給する側ならではの取組みにより、利用する側のエネルギーの低コスト化・省CO_2化を図ることも可能になります。これらの技術やノウハウを活かし、供給側と需要側がICTを活用してエネルギーを賢く制御できるシステムを構築し、低炭素時代に対応する“スマートビル化”を進めます。最終的には「**スマートコミュニティ**」の実現を目指します。

そしてもうひとつが、「**グローバル化への対応**」です。これまで、アメリカ、東南アジア、中国において、現地事務所を設置し、大型建築プロジェクトへの参画や、データセンターの構築などの実績を積んでまいりましたが、今後、さらなる事業拡大を図りデータセンター及びオフィスビルにおけるサービスをコアに、日本で培った「高信頼・環境・省エネ」の技術力を活かし、NTTグループ各社とも連携し積極的な事業展開を行っていきます。

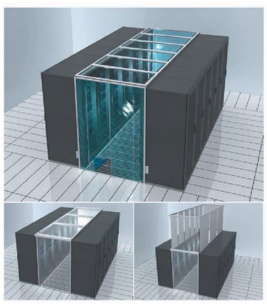
――本日は有難うございました。

GOOD DESIGN

データセンター向け高機能アルミニ重床
FIT Floor



ICT装置用気流制御システム
アイルキャッピング



ICT装置用気流制御システム
アイルキャッピングLite

図2　グッドデザイン賞を受賞した3製品